



世界の動き身近な話題
中日新聞

さんぽみち

かわら版さんぽみち編集局

〒918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-8619 FAX 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

JUST WOODS
ジャストみ〜て!

日刊県民福井 30年

日刊県民福井 同郷社長

日刊県民福井販売店 検索

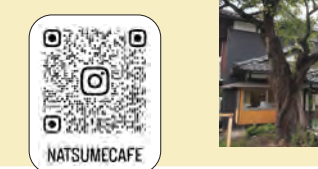
住民が個性を發揮 栗地区の魅力を発信するコミュニティカフェ



「シーフードカレー」(1,000円)。担当のリーダー家族が越前海岸で釣りあげた新鮮なイカがたっぷり入っている。越のルビーが入ったサラダ、三里浜のらっきょう漬けと一緒に。メニューは時季や食材、リーダーによって異なるので、一期一会を楽しみたい



白を基調とした清潔感あふれる店内は広々として過ごしやすい。壁面には地区住民の絵画や写真を展示することも



北に三里浜、南に朝倉山と自然豊かな栗地区。福井市街地から越前海岸に抜ける国道416号線沿いに今年4月オープンした「なつめカフェ」は、地域おこし協力隊員として東京から移住してきた田島由さん(49)を中心に、地元有志団体と地域住民が運営する。

「栗地区とその周辺は野菜や米、オリーブやナツメ、越前海岸の海産物など、食材が豊富。でもそれを提供する店や、地域住民が集ったり、県外から来た人を気軽に連れて行ったりできる飲食店が無かった」と田島さん。空き家を改修し、駐車場の草刈りをするなど、住民一丸となってオープンにこぎつけた。メニューは週替わりで、1人が調理責任者となり、メニューを決め調理を担当する「当番制」。どのメニューにも地元の食材がふんだんに使われている。「地元野菜を使ったグリーンカレーだったり、タコライスだったり、リーダーによって料理に個性があるのでそれも楽しんでもらえれば」と田島さん。コーヒーや紅茶(各300円)なつめ茶やオリーブ茶(各200円)などのドリンクや、スイーツメニュー(300円〜)も充実。11月はちょうど産産のオリーブの塩漬けやオリーブオイルが店に届く時季とのこと。ぜひ足を運んでみて。

「なつめカフェ」には3種の総菜とみそ汁、漬物がつく。昼夜の寒暖差が大きい熊谷地区で採れたお米は、粒が立って甘味が強い。キヨさんが腕を振るう総菜はシンプルだが丁寧に作られており、口にする心も体も元気に。人気メニューのため無くなり次第終了

ポットで提供されるオリーブ茶。オリーブのさわやかな苦みが口に広がる。カウンター席の大きな窓から見えるのは地域を見守るようにそびえる朝倉山

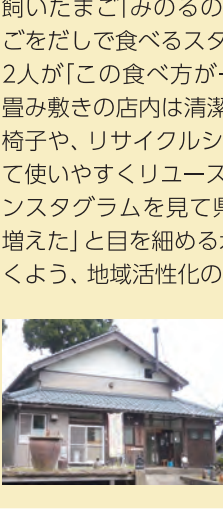
ナツメやオリーブの加工品販売コーナー。煎やお茶などがそろ

越前町の「おいしい」が集まる 山間のコミュニティカフェ



「たまごかけごはん」には3種の総菜とみそ汁、漬物がつく。昼夜の寒暖差が大きい熊谷地区で採れたお米は、粒が立って甘味が強い。キヨさんが腕を振るう総菜はシンプルだが丁寧に作られており、口にする心も体も元気に。人気メニューのため無くなり次第終了

京都外国語大学の「フィールドミュージアム活動」の拠点として整備、活用されている築140年の古民家。越前町の「西三区」熊谷・古屋・増谷の3地区の住民でつくる有志団体が中心となって、2018(平成30)年、地区内外の人が交流できるカフェとして利用できるようにした。カフェを切り盛りするのは、古民家の持ち主でもある水野方勇(まさゆ)さん(73)とキヨさん(76)夫婦。人気メニューの「たまごかけごはん」(500円)では、主に地元で流通する、古屋地区産の平飼いたまご「みでのたまご」を味わえる。白い黄身のたまごをだして食べるスタイルで、「食べることが大好き」という2人が「この食べ方が一番おいしい」と研究を重ねた一品だ。畳み敷きの店内は清潔に保たれ、地区の公民館で眠っていた椅子や、リサイクルショップで購入したテーブルに足を定めて使いやすいリユースするなど、方勇さんの工夫が光る。「インスタグラムを見て県内外から若い人がやってくることも増えた」と目を細める水野さん。「この地域が少しでも長く続くよう、地域活性化のためにも頑張りたい」と話した。



地域交流施設 古民家くまCafe
丹生郡越前町熊谷41-15 ☎0778-32-2412
☎午前11時〜午後4時 ☎月・日曜日 ☎約20台
※毎月3月下旬〜12月中旬まで(雪の状況による)

個性いろいろ コミュニティ カフェ 特集

「アイスコーヒー600円。方勇さんが、ホットコーヒーの2倍量の豆を使っていた。この夏、1人でも一杯飲んだらよかったんだけど、それも納得の味だ」



「そうめん」(500円)も人気メニューのひとつ。お皿の上にくるくると一口大に巻かれているためつゆが薄くならず、最後までおいしく食べられる

日替わりの健康ランチと居心地の良さが人気



陽光差し込む店内と広々とした座敷スペース



スタッフが皆さん



水野方勇さん☎とキヨさん

“出会いや交流による豊かなまちづくり”を実践する場として、就労継続支援A型事業所の「小さな種・こころ」が運営している。「食育」「障がい者雇用」「にぎわいづくり」を目指して2005(平成17)年に誕生した。

店内はバリアフリーで段差がなく、ゆったりとした配置。目を引くのは、植栽のツツジをアーチ型に囲むように配されたカウンター席で、桜やツツジが開花する時季には特等席だ。座敷席も広くゆったりと取られている。1人でもグループでも、幼児連れやハンディキャップがある人も、誰もが快適に過ごせそうな店だ。無料開放している展示スペース「こころギャラリー」では、地元の団体や若手作家に発表の場を提供し、福井県特別支援学校生徒の作品の販売コーナーもある。



日替わりランチ



販売コーナー レザーのスマホスタンドとマウスパッド

café&lunch こころ
☎鯖江市桜町2-7-1 高陽会館内
☎0778-54-0553
☎午前10時〜午後5時(L.O.午後4時30分)
☎ランチタイムは午前11時30分〜午後2時
☎火曜日(祝日の場合は営業、翌日休)
☎高陽会館駐車場と共用(2時間無料)
☎ホームページで情報発信中

地域住民の交流の場 コミュニティスペース「ミリュウ」 坂井市春江中コミュニティセンター



坂井市の春江中コミュニティセンター内のコミュニティスペース「ミリュウ」は、センスある家具が配置されたおしゃれで開放的な空間。どの世代もゆったりとくつろげるように造られている。仲間とおしゃべりを楽しんだり、本を読んだり、子どもとおもちゃで遊んだり、テレビを見たり…。地区の住民が自分たちのリビングルームのように自由に活用してほしいと造られた。コロナ禍で中断していた、年に4回のミニコンサート「うたはともだち」(うたとも)も夏から復活。館内には自動販売機が設置されていて飲食の持ち込みは自由だ。



7月に開催した「夏のうたとも」
本格コーヒーの自動販売機も
座ってみたいくつろぎやすい空間

地元に関する書籍やおもちゃもある
春江中コミュニティセンター

あなたの知らない中国茶の世界

vol.10 青茶のお話①

今回は青茶(チンチャ)のお話です。青茶は種類が多く、発酵や焙煎具合によって茶葉の色やお茶の味が異なるとても奥の深いお茶です。一般的には「烏龍茶」(ウーロン茶)と呼ばれるおり、日本でもペットボトルで販売されていますね。その他「鉄観音」や「凍頂烏龍茶」(台湾烏龍茶の一種)は烏龍茶の一種で、中国料理店などで提供されていることも多いです。青茶は発酵を入れ、その過程で加熱し発酵を止めます。お茶の銘柄によって発酵を止めるタイミングが異なり、その発酵度によって味や茶葉の見かけも全く違ってきます。例えば上に出した「鉄観音」は福建省安溪県産のものがあり、茶葉は深い緑、水色も緑がかった色で、香り高く飲むと「これぞ中国茶」という爽やかな味わいです。青茶の中でも茶葉が緑っぽいものは発酵度が低く、体を冷やす涼性に属します。どちらかというと、春から夏にかけて飲むと体にはいいお茶です。



写真は福建省安溪県産の鉄観音です。茶葉はやや緑がかっており、水色(すいしょく)も緑色を帯びています。写真は福建省武夷山市で生産される青茶の武夷岩茶の一種である「肉桂」という名前のお茶です。焙煎が異なり、茶色っぽく、枯れ草のような見た目ですね。同じ青茶でもお茶によって様子が違うのがわかります。

筆者：石泉美さん
中国国家高級茶葉師資格を所有。日本で一番有名なペットボトルのウーロン茶は武夷岩茶を使用しているようです。コクを感じる味でおいしいですね。

さんぽみちLINE限定企画 「ハーモニーホールふくい」 チケット引換券

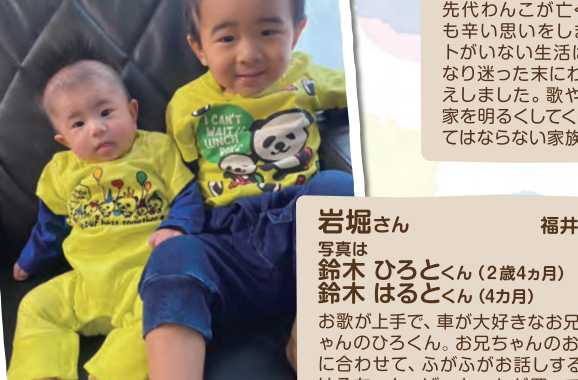
(公財)福井県文化振興事業団主催コンサート限定のチケット
5,000円分を2名様に
プレゼント!

応募方法 「ハーモニーホールふくい」チケット引換券希望」と明記住所、氏名、電話番号を記載の上、お申し込みください。(締め切りは11月20日)

読者の広場



前田さん 福井市
東京から孫が帰ってきました。おばあちゃんやサングラスに大変興味を示しました。サングラスをかけてご機嫌です。



岩堀さん 福井市
写真は
鈴木 ひろとくん(2歳4ヵ月)
鈴木 はるとくん(4ヵ月)
お歌が上手で、車が大好きなお兄ちゃんのお歌に合わせて、ふかふかお話しする、はるちゃん。はーちゃんが買ったくれた、おそろいの服で、ハイポーズ



村山 はなちゃん
(1歳5ヵ月) aibo 勝山市
先代わんこが亡くなり、とても辛い思いをしました。ペットがない生活は寂しく、かなり迷った末にわが家にお迎えしました。歌や踊りが我が家を明るくしてくれ、今やなくてはならない家族です。



日刊 県民福井

新聞をスマホで読めてとても便利!
いつでも どこでも 読める
家族みんなで読める



日刊県民福井を月ぎめ購読すると、追加料金なしでデジタル版が利用できます。
「中日新聞Webx中日新聞電子版が」

中日新聞プラス事務局
mail chuplus@chunichi.co.jp TEL 052-990-2731
＜受付時間＞10:00～18:00(土日祝含む)
※会員情報に関するお問い合わせは電子メールのみ 登録は上記から

※価格はすべて税込

※プレゼントの応募方法は中面をご覧ください。

さんぽみちは皆様の声でできていきます。「気になるお店や取材してほしい人」など、最寄りの販売店またはさんぽみち編集局へ!